

3年間を見通した年間指導計画作成 演習

ロボコン

テーマ

メンバー

小峰・中村・西川・魚返・江口・宮本

学期	1学期													2学期												3学期						合計				
月	4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月		35週					
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第1学年	内容	エレクトロニクス技術 A(1)アイ			コンピュータの構成と情報処理 D(1)アイ			材料についての学習 A(3)アイ			製作品の設計・構想図 A(3)アイ			生活に役立つものの製作「○○のための□□」 A(2)アイウ A(3)ウ												作品紹介のWeb D(2)アイ		3 5 時間								
	題材例	○技術の役割と3年間の学習の見通し			材料の加工法を重視したものづくり題材																															
第2学年	内容	エネルギー変換機器の仕組み B(1)アイ			競技用ロボットの設計と製作 B(2)アイ			A B(1)ウ			プログラムによる計測・制御 D(3)アイ						ネットワークとモラル B			3 5 時間																
	題材例	A エネルギー変換に関する技術の適切な評価 B 情報に関する技術の適切な評価 D(1)エ			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ロボコン制御部門出場に向けた製作                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     基礎的学習 過去のロボットを動かしてみるなど                 </div>																															
第3学年	内容	生物の生育環境と育成栽培 C(1)アイ			生物育成に関する実習・生物育成の様子をWebにまとめる C(2)ア D(2)アイ			プログラムによる計測・制御 D(3)アイ															1 7 5 時間													
	題材例	例) 日照管理・水やり管理のプログラム(センサーを使う、タイマーと連動させる など)																																		

【ポイント】

--	--

## 新学習指導要領のモデルカリキュラム演習 グループ討議の進め方

- 1 流れ 年間指導計画作成のポイント【熊本先生】(15分) グループ討議の進め方【久保】(5分)  
 グループ討議(70分) 休憩(10分) 発表(20分) 講評【熊本先生】(10分) 討議(30分)

### 2 討議内容

- ① 5人1組のグループを作る(事前にグループ分けを行っておく。各班の司会は運営委員が行う)

○事前に運営委員でグループ分けをしておく。

○各班の司会は運営委員が行う。発表者を1名決める。

- ② 記入例をもとに3年間の見通した年間指導計画を作成する。

○まず、内容の欄に新学習指導要領の内容を配置していく。

○ポイントの欄に、配慮した点や理由、利点・弊害などをまとめる。

○時間があれば、題材例の欄に具体的な題材を箇条書きで書く。

- 3 グループの内、5班を選出し、1班3分程度で発表を行った後、講評。

### ★★★ 記入例 ★★★

学期	1学期												2学期										3学期						合計						
	4月			5月			6月			7月			9月			10月				11月			12月			1月		2月		3月					
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
週																																			
第1学年	内容	生活や産業の中の技術				情報通信ネットワークと情報モラル デジタル作品の設計・製作												プログラムによる計測・制御 D(3)						生物の生育環境と育成技術 C(1)						3 5 時 間					
	題材例	A(1)				D(1)(2)																													
		○技術の役割と3年間の学習の見通し ○製品のライフサイクル				○パソコン室の利用の仕方 ○情報処理の仕組み(デジタル化の方法・情報量) ○情報通信ネットワークの仕組み ○著作権・情報モラル ○Webページの作成 ○自由研究のプレゼンテーション												○プログラムによるロボットの制御 ○生育環境と生育技術 ○ミニトマトの養液栽培																	

### 【ポイント】

- 情報モラルの低下による携帯電話・インターネット利用におけるトラブルが近年増加しているため、第1学年前期に「D(1)情報通信ネットワークと情報モラル」を配置した。
- 総合的な学習の時間や他教科において学習発表の際、パワーポイントを使った発表ができるように第1学年前期に「D(2)デジタル作品の設計・製作」を配置した。
- 「C生物育成」を春をまたいで学習ができるように第1学年後期と第2学年前期に配置した。また、D(3)と平行して実施する。